

常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年7月16日(金)

その2

◇ 写真で見る本校のプール授業

本校のプール授業の象徴的な写真。



1・2年合同(13名)&5・6年合同(18名)体育。児童31名に対し、指導者(監視員1名を含む)赤➡が6名。 ※青➡は「たも」で落ち葉をすくう見学者。万全の監視体制であるとともに、個に寄り添う指導も可能となる。

様々な色の帽子があるのは、赤：1年、橙：2年、緑：5年、青：6年のように、持ち上がりの学年カラーが帽子の色となっている。自分の頃のように25m泳げたら「白」、泳げないものは「赤」のような区別がないのがいい。



浅底プールが設置されているのは小学校プールならではの。主に低学年が使用するが、昨年はプール授業が中止となったことから、水慣れを目的として3・4年生も使用している。

1・2年生も水に慣れ、全員がためらいなく顔を水につけられる。「輪くぐり」などの指導の工夫もある。教師は、全員が水に入っている指導。ここが素晴らしい。



1・2年生は水慣れを終えると、2つのグループに分かれての指導に移行した。水泳は技量差がある。水に対する恐怖心も様々。それに応じた指導である。プールサイドには水筒(赤➡)が並ぶ。水の中でも人は汗をかく。熱中症対策。

高学年はプールを横に使っての平泳ぎ。本校のプールは小規模で深底は3コースのみ。よって10m程度の長さとなる。ウォーミングアップには程よい距離だ。

<おまけ>



プール授業では、常に新しい水を注入する。同時に濾過装置でプール内の水をきれいにし、衛生環境を保っている。



管理室の片隅には、お清めに使用した「紙垂」と「榊」^{して}。「榊」はバックネット裏から採取した。自前である。「榊」は「木」偏に「神」。「神木」^{しんぼく}も学校に自生する。

保健室の【AED】はプール管理室に移動。プール入口靴箱の下足整頓も完璧。